

# 学校経営推進費 評価報告書（1年め）

## 1. 事業計画の概要

学校名	履正社高等学校
取り組む課題	キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国公立大学進学者数の増加</li><li>・ 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上</li><li>・ 全国的な学力コンクールでの顕彰</li><li>・ 学校評価アンケートにおける生徒の思考力、判断力、表現力の向上</li></ul>
計画名	「フューチャークラスルーム：FCR」（プレゼンテーションルーム）で「21世紀型教育」を推進～「学びを楽しめる生徒」の育成

## 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	令和4年度事業計画 2. 教学等計画 2-1 中学校・高等学校 ②学校運営の課題 新学習指導要領の実施と大学入試改革が進行する現在、「受け身の教育」から、生徒が「主体的に学ぶ教育」への転換を促すものであり、ICTの活用やアクティブ・ラーニングの展開を通じて、物事を「探究」する能力を育成することをめざしている。本校においても、教育課程や行事計画等、教育活動や教育内容を、常に見直し、新しい時代に相応する学校運営体制の確立を図り、21世紀型教育を推進する。
事業目標	ア. 「学びを楽しめる生徒」の育成 1、2年生の「総合的な探究の時間」では、現実社会を題材に、「正解のない問い」を通して、仲間と対話し、意見をまとめて発表することで、思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力を育む教育プログラム「QUEST EDUCATION」を実施する。また放課後に、英語によるコミュニケーション技能を身につけるために、ネイティブ教員がオールイングリッシュで行う「グローバルゼミ」を実施する。その際、可動式教育用チェア「ノードチェア」と、前方と後方に大型ホワイトボードを配置した「フューチャークラスルーム：FCR」を活用し、現在の普通教室より、効率よくグループ討議、プレゼンテーションを行うことで、「受け身」ではなく「主体的」に学びに向かう力やコミュニケーション力を身につけた「学びを楽しめる生徒」の育成をめざす。
整備した 設備・物品	選択教室を「フューチャークラスルーム：FCR」（プレゼンテーションルーム）に改築 ・ 可動式教育チェア「ノードチェア」（18台）、大型ホワイトボード（1式）
取組みの 主担・実施者	・ 主担：教務部入試広報室（広報・探究推進リーダー） ・ 取組みの実施者：1、2年生「総合的な探究の時間」担当者、「グローバルゼミ」担当者
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「総合探究」、「グローバルゼミ」担当者による授業・講習の実施（通年）</li><li>・ 「総合探究」担当者による指導内容の打ち合わせ（毎週土曜日）</li><li>・ 「履正 CUP（総合探究発表会）」の実施（11月）</li><li>・ 「QUEST CUP」全国大会予選へのエントリー（12月）</li><li>・ 「学校評価アンケート」の実施・集計・分析（1～2月）</li><li>・ 全国大会出場決定・出場（2月）</li><li>・ 「フューチャークラスルーム：FCR」完成（3月）</li><li>・ 次年度「総合探究」担当者による研修（3月）</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度に向けた指導内容の検討・決定（3月）</li> </ul>
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①総合型選抜による国公立大学合格者数が3名以上。</li> <li>②「スタディーサポート」のGTZ B1レベル以上が生徒全体の20%以上。</li> <li>③・探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会予選に参加。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価70%以上</li> </ul> </li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>①総合型選抜による国公立大学合格者数が3名以上。 →大阪教育大、奈良県立大に各1名合格、計2名……………（△）</li> <li>②「スタディーサポート」のGTZ B1レベル以上が生徒全体の20%以上。 →21.3%……………（○）</li> <li>③・探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会予選に参加。 →1・2年各クラス代表19チームが全国大会予選に参加し、本選に1年1チーム、2年2チームが出場……………（◎） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価70%以上。</li> <li>→肯定的評価は72%……………（○）</li> </ul> </li> </ul>
次年度に向けて	<p>「フューチャークラスルーム：FCR」の完成は、当初計画では2022年10月を予定していたが、2023年度新入生の大幅増が予想され、HR教室や特別教室を含めた教室全体の整備計画がまとまるまで、整備を留保した。2023年1月30日に出願が終了し、必要なHR教室数の目途が立ち、「フューチャークラスルーム」を含めた、教室全体の整備計画がまとまったので、直ちに整備を行い、3月上旬に完成した。その結果「総合探究」等での活用は、できなかったが、「総合探究」の取組みは、順調に進み、11月にクラス代表による「履正CUP（総合探究発表会）」を実施し、12月に「QUEST CUP」全国大会予選へのエントリーを行い、1年1チーム、2年2チームが全国大会出場を果たした。そのうち2年生1チームは、インターン先企業からの依頼を受けて、3月に東京で、企業役員の前で発表「ASHITA MEET」を行った。</p> <p>次年度は、「フューチャークラスルーム」を、4月当初から積極的に活用し、次年度の成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型選抜による国公立大学合格者数が5名以上。</li> <li>・「スタディーサポート」のGTZ B1レベル以上が生徒全体の25%以上。</li> <li>・探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会に出場し、佳作以上を受賞。</li> <li>・「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価75%以上。</li> </ul> <p>の達成に向けて、取組みを進めて行く。</p>

### 3. 事業費報告

今年度事業費総額	2,490,152	円
----------	-----------	---

#### 積算内訳

\* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額		
積算内訳	1 報償費	1						
		2						
		3						
							小計	0
	2 旅費	1						
		2						
		3						
							小計	0
	3 消耗需用費	1	ノードチェア		¥82,500	18	¥1,485,000	
		2						
3								
						小計	¥1,485,000	
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
						小計	0	
5 役務費	1	運賃		¥ 125,152	1	¥125,152		
	2							
	3							
						小計	¥125,152	
6 委託料	1							
	2							
	3							
						小計	0	
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
						小計	0	
8 備品購入費	1	大型ホワイトボード		¥880,000	1	¥880,000		
	2							
	3							
						小計	¥880,000	
9 工事請負費	1							
	2							
	3							
						小計	0	
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
						小計	0	
						合計	¥2,490,152	